

平成29年度 富島高等学校（定時制） 学校評価

校訓		教育目標　スローガン「生徒に自信と誇りを！」～高い志を持ち社会で通用する人材の育成～				[学校関係者評価のポイント]	
自立　己の個性を伸ばす自立の心を育て、 友愛　信頼と協調により友愛を深め、 創造　心豊かな生活を目指して創造力を伸ばし、 知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。		重点目標 (1) 「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） (2) 「心」を鍛え、育てる（心の教育の推進と充実） (3) 「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）				・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。	
重点目標	評価項目	具体的方策又は具体的指標	自己評価	成果及び改善策	学　校 関係者 評　価	評価・具体的意見	
(1) 「頭」を鍛え、伸ばす	授業力の向上	校内外研修への積極的な参加や授業公開を通して、授業力の向上を図る。	A	授業改革推進リーダー研修に参加した。11月に授業公開週間を実施し、授業研修を行った。「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業を行い、授業力向上を図った。	A	基礎学力定着の指導や一人一人に寄り添った指導は、評価できる。今後も、きめ細やかな指導を継続して頂きたい。	
	ビジネス教育の推進	資格取得を通して、専門教育の深化を図るとともに、実務代替制度を推奨し、企業の求める人材になれるビジネス教育の推進を図る。	B	資格取得の推進を継続的に行った。実務代替制度を申請した生徒の意識が高いため、事業所の評価も良い。	B	実務代替制度を生かしてビジネス教育の推進をしているのは、評価できる。	
	資格取得の推進	専門科目を通して、資格取得が進路実現に繋がることを認識させ、積極的に検定試験を受験するように働きかける。	B	資格取得によって、3名の生徒が進路実現に繋がった。今後も検定試験の受験を積極的に働きかける。	A	授業時数が少ない中で、補習をして資格取得をしていることは、高く評価できる。	
	キャリア教育の推進	生徒の就労率を上げ、職業観・勤労観を育む教育に取り組む。卒業後の進路目標の早期設定を促し、正社員への進路を達成させる。	B	就労している生徒の多くが、学業との両立を努力している。卒業後の進路決定に向けて、未決定者に働きかけを続ける。	B	進路実現が出来ていない生徒がいるが、継続して粘り強い指導をして頂きたい。	
	学力の向上	一人一人の生徒の実態に応じたきめ細やかな指導を通して、授業への出席率や学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。 ・基礎学力養成プリントの実施　・出席率90%を目指す	B	SHR時の基礎学力養成プリント(国・数・英・新聞記事)を毎日実施した。商業科目等で少人数指導を実施した。	B	生徒の実態に応じたきめ細やかな指導をして頂いている。	
(2) 「心」を鍛え、育てる	基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立を図り、自立心・忍耐力の育成に努める。	B	教師による常時指導により、多くの生徒は基本的生活習慣の確立ができています。今後も継続して指導を行う。	A	学校全体が落ち着いており、安心して学習できる環境は、高く評価できる。	
	命を大切にする教育の推進	学校行事やホームルーム活動、日々の授業を通して、自他の生命を尊重する態度を育てる。	B	教育講話等の機会を通じて自他の生命を尊重する態度が醸成できています。講話で得た知識を日常生活に生かす指導を行う。	B	今後も、学校教育活動全体で、自他の生命を尊重する態度を育てて頂きたい。	
	危機回避能力の育成	平時より通学途中や災害時に潜む危険について理解し、緊急時に適切な対応を取れるようにする。	B	避難訓練や交通安全教室の機会を通じて緊急時に適切な対応を行う能力を高めることができしており、今後も継続指導を行う。	B	停電を予測して、非常灯を階段に設置したのは、緊急時の対応として、評価できる。	
	スクーリーダーの育成	学校行事やホームルーム活動等を通して、スクーリーダーを育成し、協調性・責任感の育成に努める。	B	生徒会行事を執行部中心で運営させることにより、生徒集団を動かす力を育てる。生徒に行事運営を行わせる機会を持たせることにより、責任感を育てる	A	中学時代に消極的だった生徒が、生徒会役員となり、リーダーシップを発揮しているのは、高く評価できる。	
	豊かな心の育成	読書や花壇づくり、陶芸教室などの体験活動を通して豊かな心の育成に努める。	B	読書・花壇作り・陶芸教室等の体験的活動により生徒の心の育成の一翼を担うことができた。感謝の心や他人を思いやる気持ちに繋げていきたい。	B	作物づくりや陶芸教室は、人格形成に良い。このような情操教育の取組は、豊かな心の育成に評価できる。	
	特別支援教育体制の充実	個別面談等を計画的に実施し、生徒理解に努めるとともに、ハートサポーターの有効活用、関係機関との連携を推進し、特別支援教育体制の充実を図る。	B	年度当初に全生徒を対象にハートサポーターとの面談を実施した。また、担任と協力し、個別に生徒の受信している医療機関や必要な関係機関と連携した支援を行った。	A	全職員で組織的に、適切な対応をして頂いていることは、高く評価できる。	
(3) 「体」を鍛え、伸ばす	健康教育・安全管理の充実	交通教室や健康教室の実施を通して、心身の健康教育や安全管理の充実を図る。避難訓練や救急法講習会等を実施し、危機管理や防災対策に組織的に取り組み、生徒・職員の安全の保持を図る。	B	各種の行事を通して生徒の心身の健康や自他の安全に関する意識を高めることができた。得た知識を実生活に繋げられるような日々の指導を行った。	B	定時制に合った、危機管理や防災対策を実践して頂いていることは評価できる。	
	リーダーの育成	体育の授業や部活動・特別活動を通して、リーダーを育成し、学校全体の生徒の体力の向上に努める。	B	体育的活動で中心となる生徒のリーダーシップにより生徒全体の積極的な体育的活動の取り組みができています。生徒全体の活動のボトムアップを図る。	A	気持ちの優しい生徒が多く、相手を思いやる心が十分に育っており、高く評価できる。	
	豊かな人間関係の育成	各科目の授業や部活動・特別活動および学校行事やホームルーム活動を通して、豊かな人間関係の育成に努める。	B	学校活動のあらゆる場面で生徒が互いに積極的にコミュニケーションを取ることで、豊かな人間関係を育成する。今後も行事等で生徒が互いに積極的に関わる環境を整える。	B	少人数の家族的な学校という特長を生かして、今後も豊かな人間関係の育成に努めて頂きたい。	

※ A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分